# エコサイコロジー：コスモロジー編

## “関係性”の起源を探る旅

| | |
|---|---|
| 担当者 | 川浦佐知子（南山大学人文学部講師） |
| 概要 | 宇宙全体は、成長中の一個の生き物として見るほうがいい。宇宙にははじめがあり、そしていま発達のさなかにある…。存在するものはみな、銀河も星も惑星も光も、生きとし生けるものすべてが、この創発的進化に巻き込まれている。<br>ブライアン・スウィム著『宇宙はグリーンドラゴン』より<br>夜空に輝く星々。我々が“星”と呼ぶ天体を、ネイティブ・アメリカンの人々は親しみを込めて、“私の遠い祖先”と呼びます。星と人。実は私達人間は、星と共通の起源をもっています。何万年、何億年という旅をして我々のもとに届く星の光。我々が星を見上げ、その光を瞳に受けるとき、そこには長い時間と遥かな空間を超えた“再会”があるわけです。<br>宇宙にはじまりがあることを明らかにしたビッグ・バン理論。存在するすべてのものは共通の起源をもつことを示唆するその考えは、遍くつながりをその基盤とする世界観へと私達を誘います。こうした“関係性”を蘇らせる視点、意識は、自然環境の破壊、地球生命圏の危機が叫ばれるいま、その重要性を増しています。<br>このセミナーでは、現代という時代のもつチャレンジとその意味を“宇宙という物語”を通して、考えていきます。レクチャー、テキスト『宇宙はグリーンドラゴン』の購読、および実習を通して、宇宙、地球の成り立ちを見つめることで、星を見る、風の中に立つ、水の音を聞く、夕焼けを見る、といった、日常的な体験の“宇宙的意味”を探っていきます。<br><br>●扱うトピックス<br>・宇宙の始まり、<br>・銀河の誕生<br>・星の錬金術<br>・星と輪廻の惑星<br>・生命の誕生<br>・共生<br>・性と死<br>・海から陸へ<br>・進化というストーリー |
| 日程 | 2002/7/26（金）　18：30～21：00<br>7/27（土）、28（日）　10：00～18：00　＊3日間集中（通い） |
| 定員 | 20名 |
| 会場 | 南山大学　D棟 |
| 研修費 | 27,250円（消費税ならびに申込金3,000円含む）<br>※申し込み金はテキスト代1,000を含みます。<br>申し込みを頂いた時点でテキスト『宇宙はグリーンドラゴン』を送付致します。<br>本をすでにお持ちの方はお申し出ください。申込金が変更になります。 |